

生き物を守るエコロイド

天仁屋小学校 六年

志度直 実佑二

皆さんはエコロイドという言葉を知っていますか。ぼくは、5年生の時に初めてこの言葉を聞きました。

ぼくたちの学校では、総合の時間に環境について学習してします。校内の生き物について調べたり、学校の近道を流れる天仁屋川の水質について調べたりしています。

5年生の十一月ごろ、全校生徒でエコロイドを見学することになりました。北部国道事務所の人たちが準備してくれた大型バスで出かけました。弁当も持ち、まるで遠足気分です。

バスの中では、道路がトンネルについて学びました。紙ばいカクイズで楽しく学ぶことができました。トンネルかながー1号型になってりるかとか、沖縄で一番長いトンネルはどこにあるかなどの質問に皆で考えました。

た。ほくは、それまで道ヤトンネルについて
考えたことがなかった。ので少し難しかったで
す。

「ヤンバル野生動物センター」では、ヤンバ
ルの貴重な生物について学習しました。世界
でもヤンバルの森でしか見られない生き物
が年々減っていることも知りました。森林が
開発され、道ができたことが大きな原因です。
飛べない鳥として有名なヤンバルクイナが車
にひかれて死んだというニュースもよく耳に
します。

道ができるよ、人間の生活が便利になりま
す。いんなに遠い所でも車でいけば短い時間
内で行くことが出来ます。ほくは、三日の初
めで奥の里にいきました。

しかし、道ができたことで、生き物たちの
住む環境がこわされ、すみかを追われるもの
もいるのです。

エコロイドは、道のうくりを工夫するこ
で少しでも生き物が安心して生きられるよう

に様々なくみか考えられています。たとえば、ヤブカヤが道路に出ないように少しだけ、いりも高くしたり、おむけおちたふなが、あがつてこれるようにスロープをつけたりしていました。

特に、くりにしたのが、オカがニトンネルです。ふた人は山の中で生活しているオカが、ニは、産卵の時は浜辺に移動します。移動中車にひかれないう、道路の下カトンネルになつていのです。ほくも実際にくぐつてみ

ました。世をぬめるため、足もいたくなり
ました。

工場の見学を通して、道路を作つてい
る人たちの考えや工夫、苦勞を知るニが、こ
まました。見学会のあと、お母さんの車で、
ニさんトンネルにもう一度行きました。お母
さん、初めて見たそうです。

次は、オカがニが通るのを見て、お母
さん、います。